

平成 16 年 10 月 22 日

各位

会社名 株式会社コロワイド
代表社名 代表取締役社長 渡辺順寛
(コード番号 7616 東証第一部)
問合わせ先 専務取締役 野尻公平
(連絡先電話番号：045-312-5970)

当期のM&Aの状況についてのお知らせ

併せて 「アムゼ株式会社の株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ」
「業績予想の修正に関するお知らせ」

平成 16 年 4 月 27 日付、平成 16 年 3 月期決算短信に記載のとおり、当社は業態と店舗網の拡大及び利益体質の強化に有効な手段として、引き続き積極的にM&A戦略を推進しております。当期のM&Aの進捗状況についてお知らせいたします。

なお、本件に密接な関係にあります「アムゼ株式会社の株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ」および「業績予想の修正に関するお知らせ」についても、併せて、関連開示資料として添付させていただきます。

1 平成 16 年 4 月以降のM&Aの進捗状況

平成 16 年 4 月以降本日までのM&Aの進展状況については以下のとおりです。

- (1) 当社の完全子会社である株式会社コロワイド北海道は平成 16 年 8 月 4 日付で、ユメキタスリンク株式会社より営業全店舗（14 店舗）の営業を譲受けました。

譲受店舗の概要はつぎのとおりです。

譲受店舗の店舗数	居酒屋「ととと」「暖中」など 14 店舗
譲受店舗の所在地	札幌市、釧路市、帯広市、ほか
譲受店舗の売上高	1,757 百万円 （平成 15 年 7 月期）

- (2) 当社の完全子会社である株式会社コロワイド北海道は平成 16 年 10 月 1 日付で、株式会社ルック・ヒライより営業店舗の一部（3 店舗）の営業を譲受けました。

譲受店舗の概要はつぎのとおりです。

譲受店舗の店舗数	居酒屋「瑠玖」の 3 店舗
譲受店舗の所在地	いずれも札幌市
譲受店舗の売上高	206 百万円 （平成 15 年 9 月期）

- (3) 当社は平成 16 年 10 月 1 日付で、株式会社轟眞屋と株式交換を行い株式会社轟眞屋を完全子会社といたしました。(同時に、当社の西日本における事業を株式会社轟眞屋に承継させる吸収分割を行い、同日付で株式会社轟眞屋を株式会社コロワイド西日本に改称いたしました。)
- (4) 当社は平成 16 年 10 月 22 日付で、東北地区に基盤を持つアムゼ株式会社の発行済株式総数の 69.82%を取得する契約を締結いたしました。
同社の概要は、添付関連開示資料 1 のとおりです。

上記のようなM&Aの進展の成果が下期の当社業績に寄与する予定であります。

従いまして、本状の関連開示資料として下記 2 件を添付いたします。

関連開示資料 1 「アムゼ株式会社の株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ」

関連開示資料 2 「業績予想の修正に関するお知らせ」

以上

(関連開示資料1)

平成16年10月22日

各位

会社名 株式会社コロワイド
代表者名 代表取締役社長 渡辺順寛
(コード番号 7616 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 野尻公平
(TEL. 045-312-5970)

アムゼ株式会社の株式の取得(連結子会社化)に関するお知らせ

当社は、平成16年10月22日開催の取締役会において、アムゼ株式会社の株式を取得し、連結子会社とすることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社は「手作り居酒屋 甘太郎」を中心に、直営による飲食店チェーンを首都圏および関西・中京・北海道地区で展開しております。他社との差別化の為に、独自性のあるメニューと業態の開発に主眼を置き、当社独自のキッチンセンターを埼玉・大阪・北海道の3地区に持つことにより、バラエティーに富んだメニューをリーズナブルな価格で提供できる体制を構築しております。

一方、アムゼ株式会社は、カラオケハウス事業、郊外型居酒屋事業、ビデオレンタル事業を東北地区を中心に直営を主体としチェーン展開しております。

アムゼ株式会社を当社の連結子会社化することにより、当社グループとして次のようなシナジー効果が期待できます。

- ① 東北地区での営業拠点の確立
- ② 物流、人員の採用・教育・配置、セントラルキッチン、店舗開発、メニュー開発機能の共同利用によるオペレーションの効率化
- ③ スケールメリットの享受

2. 異動する子会社(アムゼ株式会社)の概要

- (1) 商号 アムゼ株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 高橋 誠

- (3) 所在地 山形市松波一丁目 16 番 7 号
 (4) 設立年月日 昭和 48 年 9 月
 (5) 主な事業内容
 カラオケハウス、郊外型居酒屋事業およびビデオレンタル事業
 (6) 決算期 3 月
 (7) 従業員数 正社員 102 人、準社員 745 人（平成 16 年 3 月 31 日現在）
 (8) 主な事業所

平成 16 年 3 月 31 日現在

業態	主な事業所
時遊館〔カラオケ事業〕	「仙台泉店」など 22 店舗
創夢館〔ビデオレンタル事業〕	「仙台吉成店」など 12 店舗
寧々家〔郊外型居酒屋事業〕他	「山形松見町店」など 11 店舗
合 計	45 店舗

- (9) 資本の額 952,177 千円（平成 16 年 3 月 31 日現在）
 (10) 発行済株式総数 4,360,000 株 （平成 16 年 3 月 31 日現在）
 (11) 大株主構成および所有割合（所有割合 5 %以上の株主）
 高橋 誠 33.26%
 (株) 高橋総合企画 18.67%
 (株) ジャフコ 6.63%
 高橋 朝子 5.50% （平成 16 年 3 月 31 日現在）

(12) 最近事業年度における業績の動向

	平成 15 年 3 月期	平成 16 年 3 月期
売上高	6,986 百万円	6,528 百万円
売上総利益	2,600 百万円	2,320 百万円
営業利益	930 百万円	762 百万円
経常利益	917 百万円	781 百万円
当期利益	472 百万円	426 百万円
総資本	9,289 百万円	9,113 百万円
株主資本	5,660 百万円	6,020 百万円
1 株当たり配当金	15.00 円	10.00 円

3. 株式の取得先

- (1) 氏名 高橋 誠、(株)高橋総合企画、(株)ジャフコ、高橋朝子、ほか 3 名
 (2) 当社との資本関係、人的関係、取引関係等の概要
 該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	— 株 (議決権の数— 個)	(所有割合—%)
(2) 取得株式数	3,044,000 株 (議決権の数 3,044 個)	(1 株当りの取得株価： 872 円)
(3) 異動後の所有株式数	3,044,000 株 (議決権の数 3,044 個)	(所有割合 69.82%)

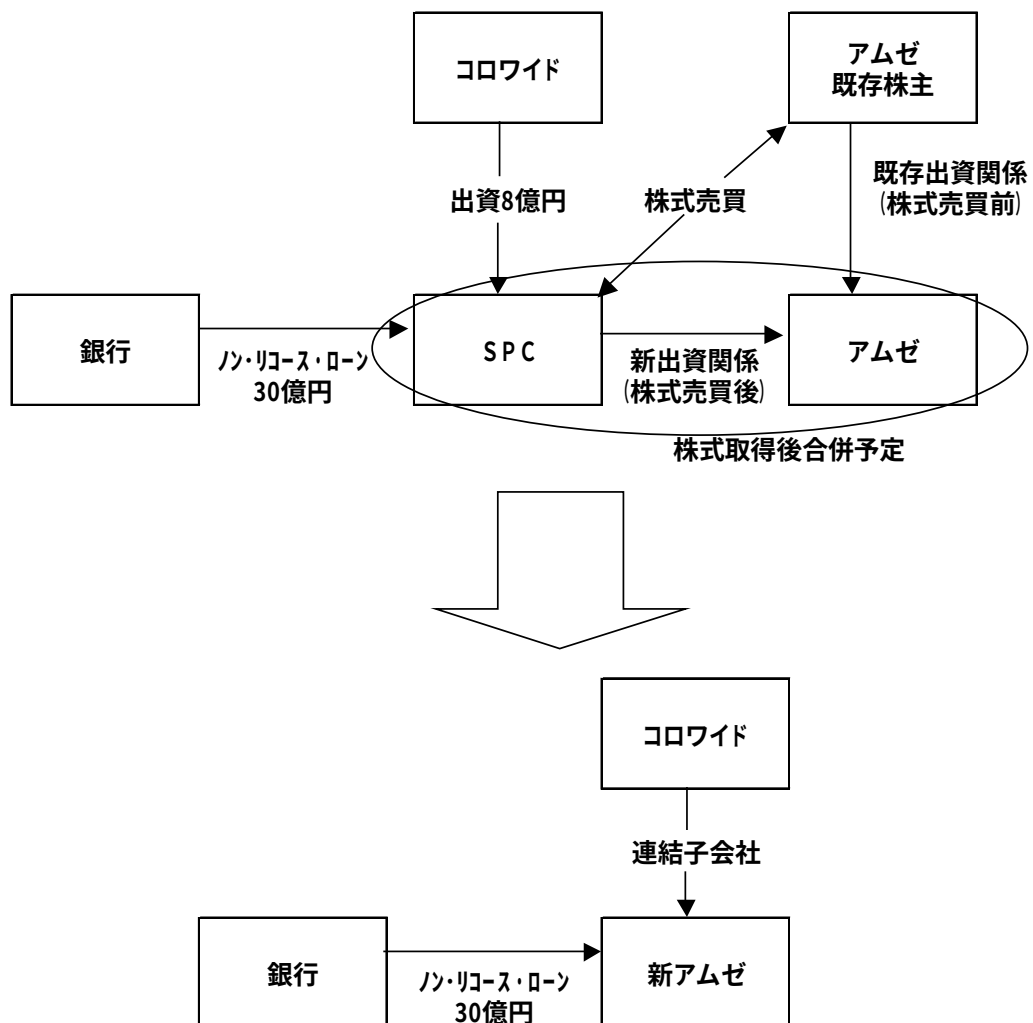
今回は、アムゼ社の発行済株式の 69.82%を大口株主様から取得するものでありますが、残る 30.18%につきましても、その他の株主様のご了承を得た上で、早急に買い取らせて頂く意向であります。これらにつきましては、平成 16 年 11 月 9 日を株券の受け渡し日とさせて頂く予定であります。

以上の結果、株式の 100%を取得した場合、本件株式取得資金総額は 38 億円となりますが、この内当社からの出資は 8 億円とし、総要資の 79%に相当する 30 億円をノン・リコース・ローンで銀行から調達する予定です。ノン・リコース・ローンとは、S P C（本件株式買取のための「特別目的会社」）を使い、アムゼの信用力のみに依拠して銀行借入を行うもので、当社は保証等を行いません。これは株式取得対象となるアムゼの信用力の高さを銀行から再確認を受けるものであると同時に、当社の M & A に関する調達力の多様さを示すものでもあります。

株式買取完了後、S P C とアムゼは合併し、合併後の「新アムゼ」は当社の連結子会社となります。これにより、合併後の図にあるとおり、新アムゼ自身がノン・リコース・ローンを調達した形になります。以上の結果、アムゼ自身の信用力による、今回の M & A 資金調達が完成することになります。

なお、本件スキームについての図解は次頁のとおりであります。

本件スキーム図



5. 日程

平成 16 年 10 月 22 日 取締役会決議

平成 16 年 10 月 22 日 主たる株主 7 名と株式売買契約締結

平成 16 年 10 月 29 日 主たる株主 7 名よりの株券引渡し期日（予定）

（なお、残りの少数株主様分につきましては、平成 16 年 11 月 5 日 株式売買契約の締結、平成 16 年 11 月 9 日 株券引渡しを予定しております。）

6. 今後の見通し

連結子会社化後の連結業績見通しにつきましては、本日（平成 16 年 10 月 22 日）に発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にてご報告いたしております。

次頁の関連開示資料 2 「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上

(関連開示資料2)

平成 16 年 10 月 22 日

各位

会社名 株式会社コロワイド
代表者名 代表取締役社長 渡辺順寛
(コード番号 7616 東証第一部)
問い合わせ先 専務取締役 野尻公平
(連絡先電話番号：045-312-5970)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、当年 4 月 27 日の決算発表時に公表した平成 16 年 9 月中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）及び平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期連結の業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	31,496	1,120	11
今回修正予想 (B)	32,759	655	△238
増減額 (B-A)	1,263	△465	△249
増減率 (%)	4.0%	△41.5%	—
(ご参考) 平成 15 年 9 月中間実績	26,007	705	115

〔金額単位：百万円〕

2. 通期連結の業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	64,992	3,253	998
今回修正予想 (B)	71,422	3,488	1,005
増減額 (B-A)	6,430	235	7
増減率 (%)	9.9%	7.2%	0.7%
(ご参考) 平成 16 年 3 月実績	55,007	2,372	207

〔金額単位：百万円〕

修正の理由

(1) 当中間期の業績

連結売上は、新規出店数がコロワイド単体で当初計画より 5 店舗増加し、連結子会社の株式会社最良屋でも当初計画より 1 店舗増加いたしました。しかしながら、株式会社ダブリューピーージャパンでは当初 4 店舗の計画が新規出店ゼロとなりました。しかしながら、連結既存店売上が前年同期比 100.8%と好調であったため、連結売上は計画比 4.0%の増加となりました。

連結経常利益は、牛肉を中心に原材料価格の値上がり、メニュー改訂に伴うレシピ原価の上昇およびロス管理の不徹底に加え、連結子会社の株式会社最良屋で、一部地域でのセントラルキッチンからの一括仕入れへの移管に遅れが生じ原価率改善が遅れました。このような要因により、連結の粗利益率が計画比 0.8%低下いたしました。

また、販促増強によるコストアップ（特にオリンピック期間に対応するための販促・宣伝費の負担）や、連結子会社の株式会社最良屋でのコスト削減等の体質改善が予定通り進まず、さらに、連結子会社である株式会社ダブリューピーージャパンで出店計画の遅れから同社の固定費負担の緩和ができませんでした。このような要因で、連結の販管費率が計画比 0.9%の負担増となりました。

以上のような結果から、連結子会社の株式会社最良屋および株式会社ダブリューピーージャパンでは経常損失の計上となり、連結経常利益は計画比 41.5%の減少となりました。また、不採算及び低収益店舗 12 店舗の閉鎖や、業態転換およびリニューアルを積極的行った結果 1,119 百万円の特別損失の計上を予定いたしますので連結当期純利益はマイナス 238 百万円を見込んでおります。

(2) 通期の業績

連結売上は、既存店売上が好調に推移していること、新規出店数が当初計画（18 店舗）を上回る 34 店舗になること、ユメキタスリンク株式会社および株式会社ルック・ヒライより営業譲受けしました店舗の売上が加算されること、本日付で連結子会社化することを決議いたしましたアムゼ株式会社の売上が加算されること、等の要因で当初計画を上回る見込みであります。

連結経常利益は、コロワイドグループ全体の中間期の課題として、売上原価率、人件費・販促費の管理を徹底することがあげられますが、原材料価格の抑制、ロス管理の徹底、人件費・販促費の堅実なコントロール等の改善が現在進んでおりますので、下期におきましては、適正な粗利益率、販管費率を確保できる見込みです。売上の増加と、当中間期の経費増につながった要因の減少で、連結経常利益は当初の計画を上回る見込みであります。

連結当期純利益は、既存店およびM&Aで取得した店舗の業態転換・リニューアルにより下期におきましても 650 百万円の特別損失の計上を予定しておりますが、連結経常利益の増加もあり当初計画は達成できる見込みであります。

3. 中間期個別の業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	25,972	1,205	208
今回修正予想（B）	27,580	991	△83
増減額（B-A）	1,608	△214	△291
増減率（％）	6.2％	△17.8％	－
（ご参考）平成 15 年 9 月中間実績	21,758	814	380

〔金額単位：百万円〕

4. 通期個別の業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	53,332	3,117	1,025
今回修正予想（B）	28,634	1,368	139
増減額（B-A）	△24,698	△1,749	△886
増減率（％）	△46.3％	△56.1％	△86.4％
（ご参考）平成 16 年 3 月実績	50,327	2,636	628

〔金額単位：百万円〕

修正の理由

(1) 当中間期の業績

個別売上は、新規出店数が当初計画（5 店舗）より 5 店舗増加の 10 店舗となったことや、既存店売上が前年同期比 102.7%と好調であったこともあり、計画比 6.2%の増加となりました。個別経常利益は、牛肉を中心に原材料価格の値上がり、メニュー改訂に伴うレシピ原価の上昇およびロス管理の不徹底により粗利益率が計画比 0.7%低下したことや、販促増強によるコストアップ（特にオリンピック期間に対応するための販促・宣伝費の負担）および当期より導入された事業税の外形標準課税部分の負担で販管費率が計画比 0.5%の負担増となったことで、経常利益は計画比 17.8%の減少となりました。これらの要因に加え、不採算及び低収益店舗 11 店舗の閉鎖や、業態転換およびリニューアルを積極的に行った結果 983 百万円の特別損失の計上を予定いたしますので個別当期純利益はマイナス 83 百万円を見込んでおります。

(2) 通期の業績

当社は、株式交換制度を活用し平成 16 年 10 月 1 日付で株式会社轟眞屋と株式交換を行い、株式会社轟眞屋を完全子会社といたしました。また、同時に、会社分割制度を活用し当社の事業を、東日本事業、西日本事業、北海道事業及びセントラルキッチン事業の四つの事業に分割し、それぞれを株式会社コロワイド東日本、株式会社コロワイド西日本、株式会社コロワイド北海道及び株式会社コロワイド C K に承継させました。

この持株会社体制への移行により、個別業績におきましては従来型の売上はなくなりま
すので、通期の業績は大幅な修正となります。

以上